

第32回電子顕微鏡解析技術フォーラム
会議録

(1) 日時：2010年 1月 22日

(2) 場所：東京ウィメンズプラザ

(3) テーマ：2010年新春第32回電子顕微鏡解析技術フォーラム

(4) 成果：反響が高かったLiイオン電池に更にフォーカスを絞り、フォーラムをおこなった。

Liイオン電池を解析する為には結晶構造を理解することが重要であることから、結晶構造と空間群に関するチュートリアルをおこなった。テーマのLiイオン電池ではLiイオン電池を研究開発している本人からLi電池の基礎から今何が問題で何を観たいのかを直接講演頂いた。そして前回のフォーラムで大きな議論であったLi電池材料をどのように扱えば良いのかにたいし、大気と隔離して試料準備する手法や実際の観察例の発表をいただき、大気暴露や前処理が及ぼすLiイオン電池材料への白熱した討論がおこなわれた。また、一般公募とざっくばらんトークにおいて、TEM試料作製法、TEM筐体原理や結像法について広く議論がおこなわれた。

(5) 参加者：45名(会員32名、非会員13名)

(6) プログラム、

チュートリアル

1. 今更聞けない～対称性とは、群とは、結晶とは 瀬戸 雄介(神戸大学)

テーマ「観たい、知りたい、リチウムイオン電池」

1. リチウムイオン二次電池～研究開発の観点から 足立 百恵(ソニー)

2. リチウムイオン電池の解析 谷垣 利明(日立ハイテク M&S)

3. 大気非開放システムを用いた解析事例 藤田 嘉美(コベルコ科研)

4. 簡易グローブバックを用いたドライ環境下での複合評価
和田 充弘(三井金属鉱業)

一般公募

1. 可視光応答型Pt/WO₃系光触媒薄膜の構造解析 中村 新一(青山学院大学)

ざっくばらんトーク

文責 鈴木敏洋(トヨタハウス)